

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10584001				
授業名	福祉政策と社会保障 B	形態	講義	単位	2
担当教員	本多 敏明				
開講学期	2025年度 前学期	曜日・時限	火曜2限		
授業目的	現代社会における福祉政策や福祉制度に関する基礎知識を習得するとともに、福祉政策の現状と課題についての認識を深めることを目的とする				
授業内容	現代の福祉問題と諸政策の事例を取り上げ、公共政策のなかの福祉政策の果たす役割を考察するとともに、福祉政策の位置づけや性格の理解を目指す。また、社会保障制度の体系・機能・給付内容に関する基礎的理解をもとに社会保障制度の重要性について理解を深める ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当する				
到達目標	福祉政策に関する基礎理論を理解している 福祉政策の歴史的発展過程を理解している 社会保障制度の体系、機能、給付内容、財政システムを理解している				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-（5）> 人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的に講義形式で行うが、その中にアクティブラーニングの手法を導入し、福祉政策・社会保障の諸課題を理解するためのペアワークなどを実施し、学生の主体的参加や能動的学習を重視した授業を実施する ■外部講師を招聘する授業回について ※外部講師（ゲストスピーカー）は、90分授業の一部分のみを担当します。 ※外部講師招聘日は外部講師の都合により変更となる可能性があります。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	授業内試験によって福祉政策と社会保障に関する基礎的な知識の習得に対する評価をおこなうことを基本としつつ、リアクションペーパー、レポートを加味して総合的に評価する				
評価基準	リアクションペーパー10点、レポート20点、授業内試験70点、100点満点				
試験・レポート等のフィードバック	レポートは、授業内で講評・解説を行う。授業内試験は、終了後に授業内で解説し、自己採点が行えるようにする				
注意事項及び履修条件	とくになし				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業の全体像、特に評価方法および評価基準を理解しておく
授業内容	オリエンテーション。①授業内容・評価方法・評価基準などについて学生と教員が意思疎通する。②社会保障の体系の概要を理解する
事後学習	再度、シラバスを通読し、ポイントを400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	厚生労働省「社会保障教育のテキスト」 https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/text.pdf

第2回	
事前学習	家族や友人以外に援助を提供できるしくみにはどのようなものがあるか例を2～3つ挙げる
授業内容	生活を支えるしくみ（家族・市場・福祉サービス）のそれぞれの特徴やしくみ（贈与・交換・再分配）を理解する
事後学習	講義資料・内容を振り返り、ポイントを400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	稲沢公一・岩崎晋也, 2019『社会福祉をつかむ 第3版』有斐閣（第4章）

第3回	
事前学習	社会福祉の対象（利用者）として思い浮かぶ人（の特徴）を400字程度にまとめる
授業内容	1) 社会福祉の行財政（財源調達、社会保障給付費、準市場等）、供給体制（国と自治体の役割、措置方式と利用契約方式）を理解する。2) 社会的必要性（ニーズ）の考え方（需要との比較、潜在的なニーズ等）を理解する

事後学習	講義資料・内容を振り返り、ポイントを400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	稲沢公一・岩崎晋也，2019『社会福祉をつかむ 第3版』有斐閣（第7章）
第4回	
事前学習	エンパワメントの意味を400字程度にまとめる
授業内容	社会福祉の理念（ノーマライゼーション、コミュニティケア、リハビリテーション、エンパワメント）のポイントを理解する
事後学習	講義資料・内容を振り返り、ポイントを400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	稲沢公一・岩崎晋也，2019『社会福祉をつかむ 第3版』有斐閣（第8章）
第5回	
事前学習	前回までの振り返りを行う
授業内容	授業内試験1。解説とこれまでの振り返り。
事後学習	これまでの講義資料・内容を振り返り、ポイントを400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	
第6回	
事前学習	厚生労働省「社会保障教育のテキスト」 https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/text.pdf を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べてメモする
授業内容	社会保障制度の概要。①社会保険と福祉制度のしくみと財源のちがいを理解する
事後学習	資料を復習し社会保険と福祉制度のしくみの違いを400字程度の文章や図示する（提出不要）
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』（最新版）有斐閣（序章）
第7回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』（最新版）有斐閣（第4章）
授業内容	公的年金制度。①国民皆年金のしくみを理解する。②公的年金制度の種類を理解する
事後学習	資料を復習し、自身の学生納付特例制度の利用有無を確認、今年度の保険料額および支給満額を400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	細野真宏，2009『「未納が増えると年金が破綻する」って誰が言った?』扶桑社新書
第8回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』（最新版）有斐閣（第1章）を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べてメモする
授業内容	公的医療保険。①国民皆保険のしくみを理解する。②公的医療保険の種類を理解する
事後学習	資料を復習し、自身（の世帯）が加入する医療保険者がどの分類に該当するか確認する（提出不要）
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』（最新版）有斐閣（第1章）
第9回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障』（最新版）有斐閣（第3章）を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べてメモする
授業内容	高齢者福祉と介護保険制度。①介護保険制度のしくみと財源を理解する。②要介護認定のしくみを理解する
事後学習	資料を復習し、医療保険と介護保険のしくみの違いのポイントを400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	棕野美智子・田中耕太郎，2023『はじめての社会保障 第20版』有斐閣（第3章）
第10回	
事前学習	これまでの振り返りを行う
授業内容	授業内試験2。解説とこれまでの振り返り
事後学習	これまでの講義資料・内容を振り返り、ポイントを400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	
第11回	
事前学習	東京都社会福祉協議会編，2020『障害者総合支援法とは（改訂第3版）』を読み、キーワードや要点に記をつけたり、分からない語句などをメモする
授業内容	障害者総合支援法の概要。①障害者関連制度改正の推移を理解する。②障害者総合支援法の基本理念を理解する
事後学習	資料を復習し、応益負担と応能負担の変遷を400字程度にまとめる（提出不要）
参考文献	東京都社会福祉協議会編，2020『障害者総合支援法とは（改訂第3版）』。杉本章，2008『障害者はどう生きてきたか』現代書館。山下幸子，2008『「健常」であることを見つめる』生活書院

第12回	
事前学習	棕野美智子・田中耕太郎, 2020『はじめての社会保障 第17版』有斐閣(第2章)を読み、キーワードや要点に印をつけたり、わからない語句を調べてメモする
授業内容	生活保護と生活困窮者自立支援制度。①生活保護のしくみと財源を理解する。②生活困窮者自立支援制度の概要を理解する
事後学習	資料を復習し、生活困窮者自立支援制度の支援内容を400字程度にまとめる(提出不要)
参考文献	藤田孝典他, 2010『反貧困のソーシャルワーク実践』明石書店。湯浅誠, 2008『反貧困——「すべり台社会」からの脱出』岩波新書

第13回	
事前学習	これまでの振り返り
授業内容	授業内試験3。解説と振り返りを行う
事後学習	これまでの講義資料・内容を振り返り、ポイントを400字程度にまとめる(提出不要)
参考文献	

第14回	
事前学習	障害者の「楽しみ活動」はどのような事業か400字程度にまとめる(提出不要)
授業内容	外部講師(吉野徹氏)。「障害者の楽しみ活動」をなさっている方をお呼びして社会福祉の性格・課題を批判的に考察する ※外部講師(ゲストスピーカー)は、90分授業の一部分のみを担当する
事後学習	ゲスト講義感想を800~1000字程度にまとめる【要提出】
参考文献	

第15回	
事前学習	これまでの授業資料等を振り返って学びのポイントを400字程度にまとめる
授業内容	授業内試験、本科目のまとめ・振り返り(15回目に授業内試験・解説を実施。なお、欠席者は別途個別に対応する。)
事後学習	本講義を受講して自分が何を知ることができ、何ができるようになったかを親や友人等に話して聞いてもらう
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><大DP-1>【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】</p> <p><大DP1-(1)>日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。</p> <p><大DP1-(2)>情報リテラシーや数量的スキルを修得している。</p> <p><大DP1-(3)>課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。</p> <p><大DP1-(4)>自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。</p> <p><大DP1-(5)>人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。</p> <p><大DP-2>【専門教育分野における知識・技能・能力】</p> <p><大DP2-(1)>自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。</p> <p><大DP2-(2)>修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。</p>
-----------	--